

はじめに

このルートは「北海道にありて北海道にあらず、しかれども東北にもあらず」独自の歴史・文化、自然を有する魅力あふれる舞台を提供してくれます。

また、北海道最南端のこの地域は、津軽海峡、太平洋、噴火湾の三つの顔を持つ海に面しています。噴火湾からは、室蘭・白鳥大橋・有珠山などの景観が海の向こうで眺めることもできます。幕末から今日まで最上級の昆布の産地として知られ、海峡の漁火はロマンを掻き立て、翌朝にはその産物が活イカとして食卓に載ります。

この舞台の上で今に生きる我々が、シーニックバイウェイ北海道を通して、また新しい歴史を創っていきます。

函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議

名称とテーマ

■名称 函館・大沼・噴火湾ルート

本ルートは、函館山と西部地区の歴史的街並み、津軽海峡の漁り火が美しい湯の川温泉郷、美しい自然に囲まれ、自然体験のプログラムを充実させている大沼周辺、北海道遺産にも指定されている内浦湾沿いの縄文遺跡群など、多彩な景観資源・地域資源を有する地域にあります。そして都市景観から農村景観、漁村景観までを幅広く網羅していることから、それぞれの個性を発揮し、絆を深めていくことが大切と考え、私たちはこれを「函館・大沼・噴火湾ルート」と命名しました。

■テーマ 人と人をつなぐ道

ルートストーリー

～未来への小径（こみち）をゆっくり歩いていく～

私達は、魅力的な歴史と美しい風土に守られて生きていることを誇りに思います。私たちは、「道」を通じて互いに連携を深め、学びあいながら、これから続いていく未来への小径（こみち）をゆっくり歩いていきたいとします。

- ① 函館山をとりまく異国情緒あふれる街並み
- ② 開拓の足跡を記す赤松街道
- ③ 駒ヶ岳・大沼と牧歌的風景
- ④ 噴火湾沿岸の漁村景観と縄文遺跡群
- ⑤ 漁り火の美しい津軽海峡



運営体制

函館・大沼・噴火湾ルート

ルート運営代表者会議

(決定機関)

幹事会

(ルートの方角性を
検討する機関)

事務局

(事務的役割
を担う機関)

分科会

(企画立案実践の実務を中心となって推進する機関)

景観

観光

自然・
アウトドア

情報

活動団体

(活動する団体・28団体)

ルート運営行政連絡会議

- ・ 函館開発建設部
- ・ 函館運輸支局
- ・ 北海道森林管理局函館事務所
- ・ 渡島支庁
- ・ 函館土木現業所
- ・ 日本自動車連盟 (J A F) 函館支部
- ・ 函館商工会議所 企画情報課
- ・ 森商工会議所 振興課
- ・ 北海道商工会連合会 渡島支所
- ・ 函館市
- ・ 北斗市
- ・ 七飯町
- ・ 鹿部町
- ・ 森町
- ・ 八雲町

サポーターズクラブ
(個人・企業での参加)

オブザーバー
(専門家等)

参加のあり方などを検討中

参加団体 (28団体)

NPO法人どうなん「学び」サポートセンター



函館すぷれっと



函館21の会



七飯町商工会



函館菜の花プロジェクト



ふしぎな花倶楽部 はななす会



函館湯の川温泉旅館協同組合



大沼観光協会



活力ユニット



NPO法人スプリングボードユニティ21



函館湯の川温泉旅館協同組合青年部



南北海道交流ネットワークかぜる



函館商工会議所青年部



恵山地区女性団体連絡協議会



NPO法人函館エコロジークラブ



鹿部温泉観光協会



南北海道オートリゾートネットワーク研究会



函館商工会議所



函館手工芸の会



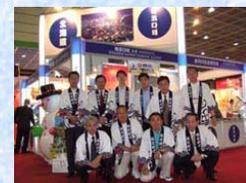
森町観光ボランティアガイドの会



NGO函館自然観察会



(社)函館国際観光コンベンション協会



函館花いっぱい道づくりの会



森町花いっぱい運動推進協議会



北の縄文CLUB



南北海道産業クラスター研究会



北斗市観光協会



八雲観光協会



活動の方針と取り組み ～景観～

■活動の目標

地域の誇れる景観を掘り起こし、保全・改善、活用する

■活動の方針と取り組み

1. 美しい景観とは何かについて考える

- 1) 景観診断の参加
- 2) テーマごとのエリアの紹介

2. ビューポイントを発掘する

- 1) シーニックフォト倶楽部の設立
- 2) シーニックバスツアーの開催
- 3) シーニックルートマップの作成
- 4) フォトコンテストの開催

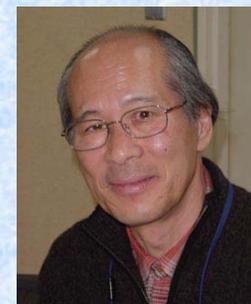
3. ビューポイント周辺の景観向上に取り組む

- 1) 清掃活動の実施
- 2) 植栽活動の実施
- 3) 景観阻害の改善



リーダー

佐々木哲夫
(函館商工会議所青年部)



サブリーダー

林須美一
(七飯町商工会)

これまでの取り組み ～景観～

名称： クリーン・グリーン&フラワーイベントinはこだて

日時： 平成18年6月10日

主催： 函館商工会議所青年部、函館・大沼・噴火湾ルート
運営代表者会議、函館花いっぱい道づくりの会

概要： 函館の陸路のゲートウェイ、函館IC付近から産業道路まで、約2.2km両側の沿道沿いの清掃活動を行いました。また、同区間の約0.5kmで函館花いっぱい道づくりの会（19団体で構成、うち3団体がシーニックバイウェイ参加団体）による植栽活動を石川～桔梗地区で行いました。函館商工会議所青年部と函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議と函館花いっぱい道づくりの会が初めて連携した取り組みで、参加者は650人にもなりました。



活動の方針と取り組み ～観光～

■活動の目標

住民一人ひとりが地域資源の大切さを知り、そしてそれを活かす活動を追求する

■活動の方針と取り組み

1. 地域固有の資源を活かした観光メニューの創出

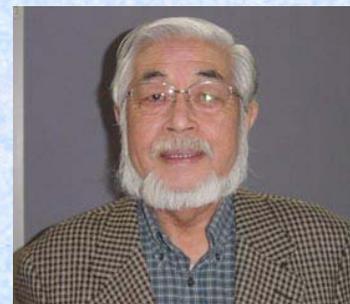
- 1) バル街V協賛イベント「街なか探訪・学びツアー」開催
- 2) 「旧恵山町のブナ林と春の野の花の観察と生きた火山恵山とその周辺の歴史を学ぶツアー」開催
- 3) 「鹿部町間欠泉とホタテの耳吊り体験ツアー」開催

2. 活動団体の連携強化と観光の質の向上

- 1) 縄文文化を再現し、体験する歴史探訪ツアー
- 2) 西部地区の歴史的街並み探索ツアー
- 3) 温泉宿泊施設を拠点に各種体験を交えた「癒し」のツアー
- 4) ルート全体で取り組む「スマイルキャンペーン」
- 5) 場所を変えた観光分科会の開催

3. 歴史を学び活かす

- 1) 「函館の歴史を学ぶ」講座
- 2) 「函館の港を船上から学ぶ」講座



リーダー

奥平忠志

(NPO法人どうなん「学び」サポートセンター)



サブリーダー

石塚大

(函館菜の花プロジェクト)

これまでの取り組み ～観光～

名称： バル街V協賛イベント「街なか探訪・学びツアー」

日時： 平成18年4月16日

主催： NPO法人どうなん「学び」サポートセンター

概要： 函館西部地区飲み歩きイベント「バル街」の協賛イベントとして、街なか探訪・学びツアーを行いました。当日はあいにくの小雨の中約30人が参加し、函館菜の花プロジェクト代表の石塚大氏らのガイドを受けながら、西部地区の歴史を学びました。



これまでの取り組み ～観光～

名称： 「鹿部町間欠泉とホタテの耳吊り体験」 ツアー

日時： 平成18年6月25日

主催： NPO法人どうなん「学び」サポートセンター

概要： 鹿部漁港にて「鹿部町間欠泉とホタテの耳吊り体験」ツアーが行われました。鹿部漁協組合の方々にホタテに関する講義を受けた後、約30人の参加者たちは実際にホタテの耳吊りを体験しました。



これまでの取り組み ～観光～

- 名称： 2006縄文の道フォーラム、
縄文市民サミットinはこだて
- 日時： 平成18年10月7日
- 主催： 縄文都市連絡協議会、北海道函館市
- 後援： 函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議、
函館21の会、北の縄文CLUBなど
- 概要： NPO法人どうなん「学び」サポートセンター理事長奥平忠志氏による
「学びと体験を取り入れた縄文観光」と題する講演や、縄文人の食事を
実際に体験できる縄文食、また、アングイン編みなどのワークショップ
が行われました。



活動の方針と取り組み ～自然・アウトドア～

■活動の目標

自然の尊さ、人のぬくもりを伝える

■活動の方針と取り組み

1. 自然を守りながらうまく活用していく

- 1) キャンプ&ラリーの開催
- 2) 横津岳ガイドツアーの開催
- 3) 八雲の遊楽部(ゆーらっぷ)川に代表される自然環境教育プログラムの提供

2. ガイドの発掘・育成

- 1) 大沼公園ボランティアガイド研修会
- 2) ガイド発掘・育成のための連携(ネットワーク)作り

3. 地域と来訪者の心をつなぐ

- 1) 人と人とのふれあい方について勉強する



リーダー

仲尾正三

(南北海道オートリゾートネットワーク研究会)



サブリーダー

鎌鹿隆美

(NGO函館自然観察会)

これまでの取り組み ～自然・アウトドア～

名称： シーニックバイウェイ キャンプ&ラリー

日時： 平成17年6月25日

主催： 函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議

概要： キャンプとラリーが融合したイベントが、はこだてオートキャンプ場を舞台に行われました。キャンプの部では初心者でも体験しやすいやさしいキャンプ教室などが、ラリーの部ではルートを3つのコースに分けて設定し、参加者が選んだビューポイントを写真で収めたり、クイズや体験を楽しみながら行われました。

キャンプの部



Aコース
(縄文体験)



Bコース
(カヌー体験)



Cコース
(乗馬体験)



活動の方針と取り組み ～情報～

■活動の目標

ITや地域メディア等を活用した効果的な情報を共有し、発信する

■活動の方針と取り組み

1. 内部的な関心の共有、意識醸成

1) 函館・大沼・噴火湾ルート活動団体一覧作成

2. 地域メディアとのタイアップ

1) FMいるかの情報誌「いるか通信」に特集記事掲載

2) FMいるかの特別番組(8月10日「道の日」)による情報発信

3. 多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発

1) 例えば、子供達(小学校低学年)には、カルタのようなものを作成して地域の魅力とふれあう機会をつくっていく方法があります。

2) 大学生とは、一緒にホームページをつくり、運営していくような体制で継続的にやっていきたいです。学生側の体制としては、研究室単位での参画、あるいはクラブ活動としての参画などが考えられます。

3) 地域資源のPR手法としては、トレーディングカードを製作して各所でプレミアとして提供する方法が考えられます。



リーダー
丸藤競
(活カユニット)



サブリーダー
岩塚晃一
(函館商工会議所青年部)

これまでの取り組み ～情報～

名称： FMいるかとの連携事業①

日時： 平成18年7月10日～9月10日

主催： 函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議

概要： FMいるかと連携、ローソンの協力により実現した地域メディアとのタイアップ企画で、ルート運営代表者会議が企画制作を行いました。5コースの課題ポイントがあり、写真または絵手紙などでロケーションをハンティングするシーニックロケハン体験。また、その小旅行を踏まえて、函館・大沼・噴火湾ルートのニックネームを募集しました。

■選考結果

最優秀賞・・歴史と煌めき浪漫街道

優秀ネーミング賞・・ハミングロード

ロケハン特別賞・・たこやき、あじわいの旅路（あじわいライン）

人里ふれあい街道、ロマンティック海道

あなたに逢いたいのはやまやま



▲選考風景

これまでの取り組み ～情報～

名称： FMいるかとの連携事業②

日時： 平成18年8月10日

主催： 函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議

概要： FMいるかと連携、ローソン協力、また函館・大沼・噴火湾ルートの参加団体でもある函館湯の川温泉旅館協同組合・函館商工会議所・七飯町商工会・函館国際観光コンベンション協会・八雲観光協会とその他の企業に協賛を募り、7時間のシーニック特別番組を実施しました。FMいるかの“いるか号”（中継車3台）がルート内を回り、八雲町・鹿部町・森町・七飯町・函館市恵山地区に中継地点を設置。そこで、各町の参加団体が自分たちの町やシーニックバイウェイに関する抱負などを語りました。



今後の取り組み

1) 活動の方針と取り組みの推進

各テーマごとに分科会が中心となり、活動の企画立案実践の実務を行います。
また、テーマに応じて合同分科会を開催します。

2) ルート全体事業の推進

ルート運営代表者会議は各活動団体との連携を密にし、活動の企画・運営・実施を行います。

■ 予定の活動

- ・カルチャーナイト
- ・ボラット紙発行
- ・赤松こも外し
- ・冬の野外での体験
- ・かるたづくり(情報分科会発案)
- ・キャンドルナイトなど